

# 生かしてほしいシニアの力

あなたやあなたのグループのお仲間の力を、子どもたち・子育て世代にお貸しください。



## シニア世代ができること

地域の行事に参加

笑顔であいさつ

学校の授業や行事等、地域の子ども会活動等への協力・参加



郷土料理「ガネ」

郷土芸能の伝承、郷土料理の伝承、昔の遊び・昔話、おじいちゃん・おばあちゃんの知恵の伝承等も！



郷土芸能「琉球傘踊り」



鹿児島県には、「人の子も 我が子も みんな地域の子」という言葉があります。地域の子どもたちは、「未来からの預かりもの」であり、かけがえのない宝物です。シニア世代も地域の人々も、みんなで一緒に子どもを見守り、成長を喜び、子育て世代に寄り添い、笑顔あふれる地域にしたいものです。

## 今どきの子育て事情

成長過程で会う大人数が減少。  
(親族の単位が年々減少。いとこやおじ、おばの数の減少など)

親が子どもの近くにいない時間が増加。  
(共働き世帯の増加や勤務時間の多様化など)

親の両親等のサポートを受けられないケースが増加。(三世帯同居の減少、実家が遠い、両親の高齢化など)

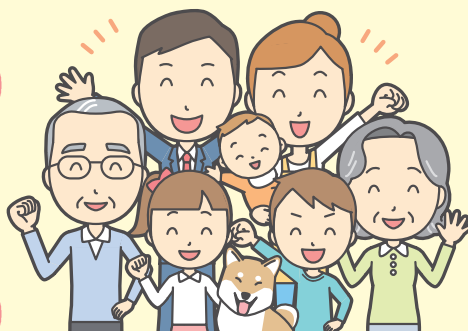
# シニア世代の力で、こんなメリットが・・・

## 子育て世代にとっては

地域の方々とつながることで、安心して子育てができます。

## 子どもたちにとっては

多くの人から、声をかけられたり、ほめてもらったりすることで、自己肯定感が育まれます。



## シニア世代にとっては

子どもたちに刺激を受け、気力がわいたり、元気が出たりします。

**3世代それぞれにいろいろなメリットがあります！**

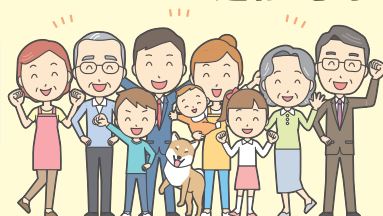
## シニアの力を生かすための「3つのポイント」

- ポイント 1** 子育て世代をサポートする気持ちで。まずは、「見守り」や「声かけ」から始めましょう。
- ポイント 2** 今、何に困っているのか話を聴くことから始め、子育て世代と「コミュニケーション」を図りましょう。
- ポイント 3** 子ども一人一人の「良さ」を見つけて、ほめましょう。

できるときに  
できることを！  
楽しむ気持ちで  
さりげない  
サポートを！

学校応援団になりたい、学校行事等へ協力・参加したい等の場合は、その学校か市町村教育委員会へお問い合わせください。

## <いろいろな連絡先等>



各市町村には、地域子育て支援拠点（子育て支援センター等）があります。子育てに関する情報提供を受けることができます。

「鹿児島県家庭教育支援条例」では、

「地域住民は、(中略)家庭教育を行うのに良好な地域環境の整備に努めるとともに、地域における歴史、伝統、文化等に関する行事等を通じ、子どもの健全な育成に努めるものとする。」(第8条)とされています。(平成26年4月1日施行)



県教育委員会では、鹿児島県家庭教育支援条例を受け、家庭教育を支援するための施策を推進しています。

これまでに作成した家庭教育に関するリーフレット等、家庭教育支援に関する情報は、県のホームページに掲載してありますので、ぜひ、ご活用ください。

右のQRコードから見ることもできます。

(QRコードの使い方が分からない時は、お子さんやお孫さんに尋ねてみてください。)



鹿児島県 家庭の教育力の向上 検索